

蚕糸王国信州を未来にどう伝えるか ～「地域学」と「アーカイブ実践」～

信州学「信州の蚕糸業とシルクロード」講座 第6回

水島 久光 (東海大学 文学部)

「信州学」と「地域学」～多様な「地域学」①

<http://www.gakushubunka.jp/yugakukan/chikigaku/>

(公財) 山形生涯学習文化財団 より

- 「山形学」や「長崎学」、「横浜学」など<地域学>と呼ばれる活動が全国各地で盛んになっています。ここでいう<地域学>とは、たとえば「東南アジアの地域研究」などといった場合の、特定地域の総合的・学際的研究としてのエリア・スタディといわれる純学問的なものとは異なり、主に<生涯学習>の分野で実践されているところが特徴であります。
- つまり、ここでいうところの<地域学>とは、地域の自然、人、事象などを学ぶことによって、個々人が郷土観を確立し、ひいては地域活性化や地域づくりへの動機づけを図っていかうとするものであります。
- また、「生涯学習としての地域学」はその地域の住民を主要な担い手として、都道府県や市町村などの行政（企画担当部門から教育委員会まで幅広い行政部門）、大学等高等教育機関、NPOなどの市民団体から趣味のグループまで、多様な実施主体によって企画されおり、それぞれの地域学は独自の目的や方法を持ち、様々な活動を展開しています。
- 例えば、地域に関する学習機会の総称や一連の講座事業の名称としての<地域学>、地域を科学的に把握しようとする学問研究としての<地域学>、地域振興・地域文化振興を指向する地域づくりや社会参加活動としての<地域学>など多様であります。
- これらを一つの定義で括ることは難しいし、また括るべきでもないと考えられます。<地域学>は多様かつ多彩な“学び”の活動であり、現実的な“可能性”そのものであります。

「信州学」と「地域学」～多様な「地域学」②

http://www.hitozukuri.or.jp/jinzai/seisaku/80kenkyu/05/H20/H20_CG.htm

地域学の可能性 - 彩の国さいたま人づくり広域連合 より

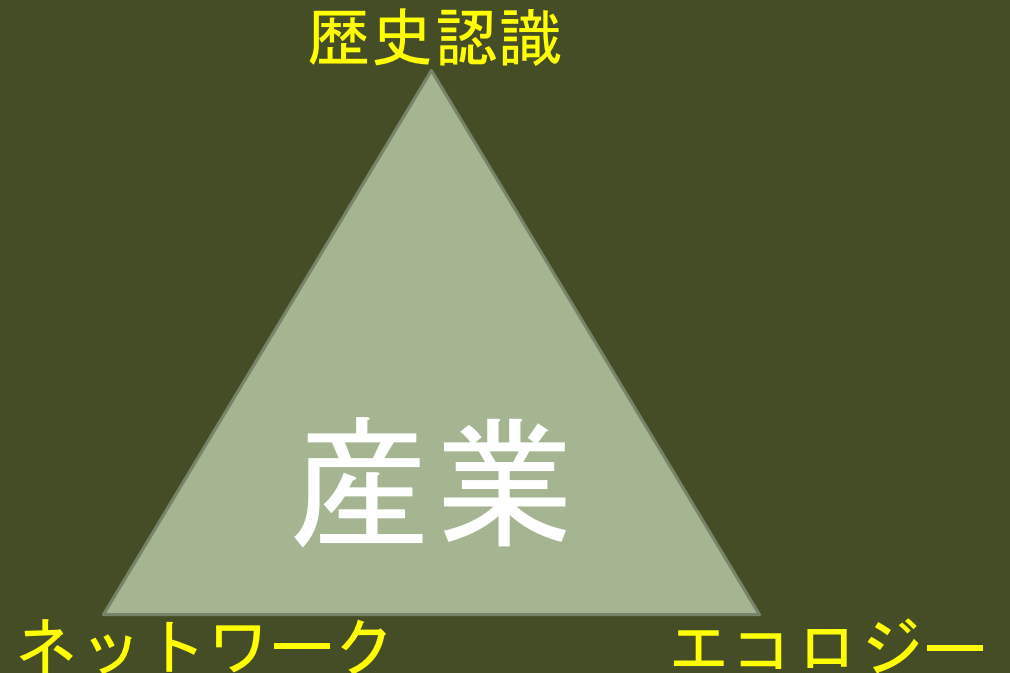
- 現在、国内各地においては、「江戸東京学」、「山形学」、「秩父学」といった地域名を冠した「学」があり、地域学と呼ばれている。この「学」たる地域学は学問なのか。単なる学問にとどまらない可能性を持つものであろう。
- 地域学は、特定の地域を対象とし、その歴史や地理、経済、文化などを総合的、学際的に追求する地域研究を主流として取り組まれてきたとされている。
- その一方で、地域に関わる住民や大学等が自らの地域に目を向けて、足元にあるあらゆる事象を調査研究、学習の対象として、実際にまちを歩きそこにあるものから何かを見いだそうという姿勢で取り組む地域学がみられるようになってきた。とりわけ、1990年代半ば以降、地域の自立化の要請や地方分権の進展、市町村合併、住民自治領域の拡大とともに、個性化を目指した自らの地域づくりの中に地域学を取り入れ、活用していこうとする動きが顕著となっている。近年では、より地域づくりを指向した「ご当地検定」、「エコツーリズム」、「エコミュージアム」など、地域学を方法論とする取組も活発になっており、多彩な形で地域学が広がりつつあるといえる。
- 現在、地域学は、地域住民、大学、企業、NPOそして行政のもとで、多くは市民大学などの生涯学習事業として、また、大学の地域貢献事業、地域の観光や産業の活性化のための人材育成としてなど、様々な形態で取り組まれている。
- こうした様々な形態を持つ地域学を「地域学とは何か」と明確に定義付けることは、簡単なことではない。実際、対象とする「地域」も県や市町村の行政区域に限らず、より大きな「東北」といった区域、そして、より小さな集落等を区域とするもののほか、「地元」というその地に住む人々の生活圏域を捉えた区域を対象とする場合もみられている。さらにいえば、地域名も冠せずに地域を題材にした調査研究、学習を実施しているものも含めれば、その数は、優に千の単位に達するであろう。

「地域学」の成立条件 ～地域学とお国自慢は違う

- 「地域」は歴史学的概念である。
- 「地域」は生態学的概念である。
- 「地域」はネットワーク的概念である。



人間（の生きられる）環境単位
近代社会においては、その核は...



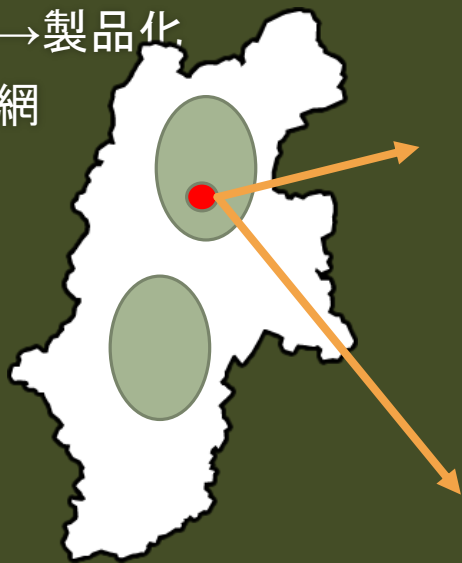
「郷土史」と「観光学」と「地域学」 ～キーワードは「近代産業」

- 「〇都××」への注目：
 - 明治後期～大正期の呼称。時代で「都」の概念が違う。
 - 地形×気候×人 自然条件+人的条件。
- 「なぜ信州は織物産業に参入しなかったのか？」：
 - 手工芸製品と近代産業製品をごっちゃにしないこと。
 - 市場分散型×市場集約型
- 「合理化」という観点
 - 量と質の安定に何が寄与したのか／その結果何が生まれたのか？
 - 蚕種の一交代雑種生産、風穴、品種管理、生産組織化、金融業の発達。
- 「文化」=みんなのものになっていくプロセス 例：女工さん文化

二つの映像から、考えてみましょう。 ～「蚕都上田」 VS 「炭都夕張」

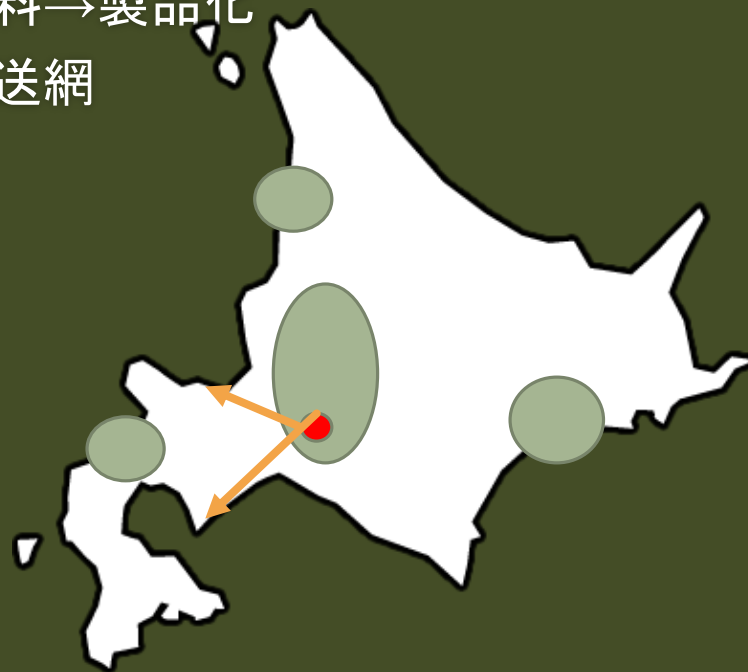
- 『依田社の記録』（1920年代？）
<https://www.youtube.com/watch?v=9cmlm8NHP7o>

- 原料→製品化
- 輸送網



- 『炭都夕張』（1953）

- 原料→製品化
- 輸送網



(参考) 地域と鉄道網

- <http://museum.umic.jp/ezukochizu/kingendai/kingendai10Explanation.html>
- <http://www.uraken.net/chimei/railold/hokkaido.html>

なぜ、地域の資産が失われてきたのか

- 「ここは、もともとは〇〇だったんだよ」・・・を考える。
 - 「津波は何を押し流したのか？」 — 東日本大震災と「復興」の反省
 - グローバル経済との対比 「企業」を考える — 富士通と須坂市
 - 技術革新と企業のコア・コンピタンス — 富士フィルムの例
- その「地域」である必然性／その「産業」である必然性

「地域」の過去ー現在ー未来を結ぶ・ ・ ・ ～アーカイブ実践の取り組み。

- <http://recorder311.mizushima-lab.tv/>
- <http://gakumae.mizushima-lab.tv/>

▼ Search

検索

例: 150-0031

ルートを検索 履歴

▼ 場所

- [鹿の谷小学校\(2010-14\)](#)
鹿の谷小学校(解体後)
鹿の谷小学校(解体前)
- [日吉-若菜\(2014\)](#)
夕張の湯、旧化成工業所、幸福の黄色いインカ
- [大夕張白金地区\(2010-1\)](#)
白頭橋水塔、白金開拓地跡 [動画を再生](#)
- [本町、梅が枝通\(2014\)](#)
ホテルシュエパロ、梅が枝通り、大宝寺 [動画を再生](#)
- [美術館-市役所\(2014\)](#)
美術館、本町通り、商工会議所 [動画を再生](#)
- [末広墓地\(2014\)](#)
末広墓地 [動画を再生](#)
- [石炭の歴史村\(2014\)](#)
なれあい、夕張希望の丘、石炭の歴史村、石炭博物館
- [南部青葉町-ダム管理事務所](#)
管理用道路、シュエパロダム、放水、インフォメーション
- [鹿ノ谷\(2014\)](#)
夕張鹿鳴館、夕張教会、石炭分析室、夕張工高
- [鹿島旧市街跡\(2014\)](#)
鹿島玉町、ギリ助、鹿島千年町、鹿島明石町 [動画を再生](#)
- [新夕張国道から鹿島へ\(2014\)](#)
夕張国道出口、夕張東高、校跡、旭沢橋梁、鹿島小
- [本町、梅が枝通・秋\(2014\)](#)
本町商店街、映画看板、梅が枝通 [動画を再生](#)
- [真谷地\(2014\)](#)

ログイン

石炭の歴史村(2014)

✕

本町、梅が枝通(2014)

ホテルシュエパロ、梅が枝通り、大宝寺 [動画を再生](#)

経路: [到着地点](#) - [出発地点](#)

本町、梅が枝通(2014)

美術館-市役所(2014) 本町、梅が枝通・秋(2014)

夕張市役所-駅(2014)
アディーレ会館(2011-14)

夕張小学校(2010-14)

© 2015 ZENRIN
Gray Buildings © 2008 ZENRIN

Google earth

レイヤ

Earth ギャラリー >>

2007

画像取得日: 2014/7/29 43° 03'30.17" N 141° 58'35.20" E 標高 317 m 高度 1.57 km

「アーカイブとアーカイブをつなげる」 「イメージのサーキュレーション」

アーカイブそのものの構築
サブシステム＝研究・実践環境の構築

アーカイブ・デザイン
メタデータ化

参加と
アクセシビリティ

研究の蓄積

- ・ アーカイブが与える認識と解釈
- ・ 史料学→歴史学の拡張
- ・ 権利のイノベーションと公共性
- ・ 図書館情報学とメディア研究の
接続

「鍵」は循環性
(サーキュレーション)

キュレーション／ファシリテーション

アーカイブ実践

- ・ 解釈 ⇒ 活用 (地域やトピックそのものに関するアクションへ)
- ・ 集積 ⇒ 構築 (アーカイブそのものが育っていく)

「教育学」的アプローチ